

(仮称) 南こども園創設に係る説明会

1. 開催日時 平成25年2月2日(土) 午前9時30分
2. 開催場所 みなみ保育園リズム室
3. 出席者 (事務局) 吉川こども課長、真銅教育総務課長
奥田こども課課長補佐、水野こども課指導主事、浅井教育指導課課長補佐
(みなみ保育園) 高橋園長

(事務局)

【挨拶】

(事務局)

【出席者紹介】

(事務局)

【説明】

4. 主な質疑内容

参加者：みなみ保育園の跡地は、どうなるのか。

事務局：今のところ、決まっていない。今後3年間の間で、関係機関と調整しながら、どう利用すればよいのか検討していく。

参加者：幼稚園・保育園の定員の数は変わらないのか。

事務局：長時間利用児(今の保育園児)は、変えない予定である。短時間利用児(今の幼稚園児)は、園区の希望者全員を受け入れる。

参加者：現在みなみ保育園に在園していて、年長になる時にこども園になる子がいる。新しいこども園になることで、何か変わるのか。また、先生はどうなるのか。

事務局：なるべくそのままひきつぐように考えている。人事交流等で、互いの園のことをわかるようにしているので、スムーズにできていると思っている。クラス数が増えるので、前の担任が受け持つのかはわからないが、知っている先生がいるように長時間利用児も短時間利用児も考えていく。

参加者：建て替えの時、幼稚園の通園バスが、みなみ保育園の前の道路を通ることになると思うが、送迎の時に危険ではないか。

事務局：南幼稚園の通園バスは、50名程度のマイクロバスと10名程度の小さいバスが1回ずつ登園と降園の決まった時間に走る。平成27年度の工事中の1年間は、南小学校に入って乗り降りするので、支障はないと思う。

参加者：保育園の送迎の駐車場はどうなるのか。

事務局：現在同様に、南コミセンの駐車場を利用したいと考えている。

参加者：こども園の先生の資格はどうなるのか。

事務局：幼稚園教諭の資格と保育士の資格の両方持つ職員を配置する。

参加者：通園バスを長時間利用児は利用できないのか。また、服装はどうなるのか。

事務局：通園バスについては、短時間利用児のみとなる。

以前保育園でも通園バスがあったが、決まった時間の運行ということで、利用者がなくなった。服装については、今から3年間あるので、幼稚園と保育園で話し合いながら、保護者の皆様の負担にならないよう、考えていきたい。

参加者：懇話会について、どうなっているのか。

事務局：平成24年11月に懇話会を設置し、これまでに2回開催した。

みなみ保育園、南幼稚園で保護者会を開催し、保護者の意見を聞いた後、3回目を開催する。学識経験者の大学教授を座長とし、こども園経験者、保育園・幼稚園の保護者・園長、南小学校長、保育園・幼稚園の職員等が参加している。

参加者：南幼稚園・みなみ保育園の園児が入ると園児数が増えるので、運動場は狭くならないか。

事務局：南幼稚園は約4,000㎡の敷地面積がある。園舎を2階建にして、十分なスペースがとれるようにしたい。

参加者：0～2歳児は、荷物が多いので部屋の配置を考えてもらえるのか。

事務局：低年齢児のクラスは、1階にする予定。

参加者：他市の様子をみているのか。保育園にとってメリットがなく、デメリットのように思うが。

事務局：奈良市や橿原市等の状況も参考にして、進めていく。

3.4.5 歳児は現在1クラスずつだが、こども園になることによって複数クラスになり、集団の中で子どもたちが刺激し合うことができる。

また、みなみ保育園の園児の半分が園区内の子どもなので、こども園になり短時間利用児と長時間利用児が一緒のクラスで生活することにより小学校へ一緒にスムーズに行くことができると思う。

もし、長時間利用児が3歳児になった時に短時間利用児に変更することも可能であり、保育料が軽減される場合もある。

ただし、短時間利用児が長時間利用児に変更を希望する場合は、定員等の問題がでてくるので、こども課での協議が必要となってくる。

参加者：長時間利用児は、短時間利用児の迎えの時、友だちが先に帰ってしまうと、精神的に負担になるのでは。

事務局：長時間利用児は今でも迎えの時間がバラバラだが、子ども達は対応できている。他市においても、大人は心配するが、子どもは馴染んでいるようだ。

参加者：幼保一体のこども園は、平成28年の開園か。

事務局：平成28年開園の予定。こども園開園にむけて、交流を深められるよう、話を進めている。

参加者：統一カリキュラムについて、教えてほしい。

事務局：平成23年度に幼稚園・保育園の園長、主任、職員で検討した。平成24年4月に、全幼稚園及び保育園に配布し、現在利用している。保育園と幼稚園の3歳児の初めに育ちの違いがあり、十分に話し合いをして、0～5歳児のカリキュラムを作った。

今後、子どもの実態に応じて、各園で見直し等を行っていきたいと考えている。

参加者：幼稚園には入園式があるが、保育園はどうなるのか。

事務局：行事については、今後、他市事例などを参考に幼稚園とも協議しながら考えていきたい。

長時間利用児は、今まで通り4月1日から預かる。